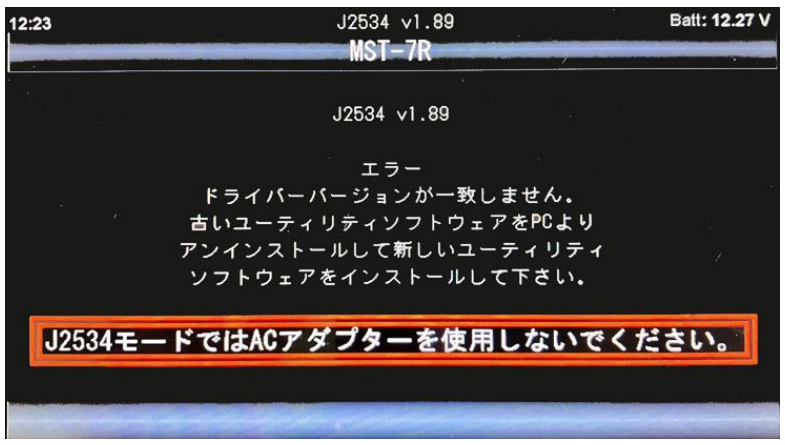
MST-7R
J2534ソフトドライバーバージョン エラー対処方法

ドライバーバージョンエラーについて

OBD検査を行うために、MST-7RをJ2534モードに切り替えたときに以下のエラーが表示される場合は、MST-7Rとパソコン（タブレット）のドライバーバージョンが異なっています。

エラーが表示される場合は、本要領書に従ってパソコン（タブレット）のソフトウェアを最新版にバージョンアップしてください。

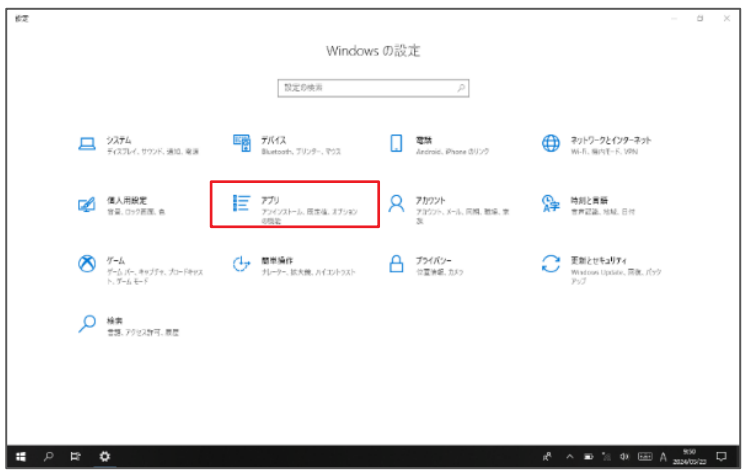


手順：
①ＰＣ（タブレット）にインストール済みの「J2534VCI設定」をアンインストール
②最新の「J2534VCI設定」をインストール
③コミュケーションテストにてエラーが無いことを確認

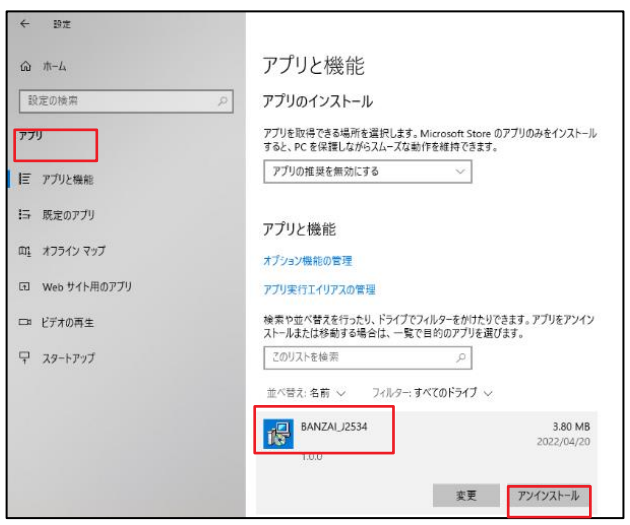
作業時間（目安）：15分程度

① BANZAI J2534VCI設定のｱﾝｲﾝｽﾄｰﾙ

1. Windowsマーク をタップし、
[設定]→[アプリ]の順にタップします。

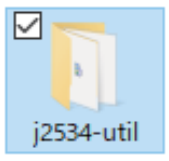


2. [アプリと機能]または[インストールされているアプリ]から「BANZAI_J2534」選択し、「アンインストール」をタップします。

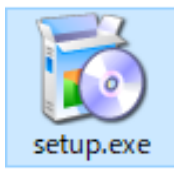


② BANZAI J2534 VCI設定のｲﾝｽﾄｰﾙ

1. MST-7R本体とパソコン（タブレット）のUSBポートを接続し、
「MST-7R」 → 「support」 → 「win-app」
→「j2534-util」フォルダの順に開きます。

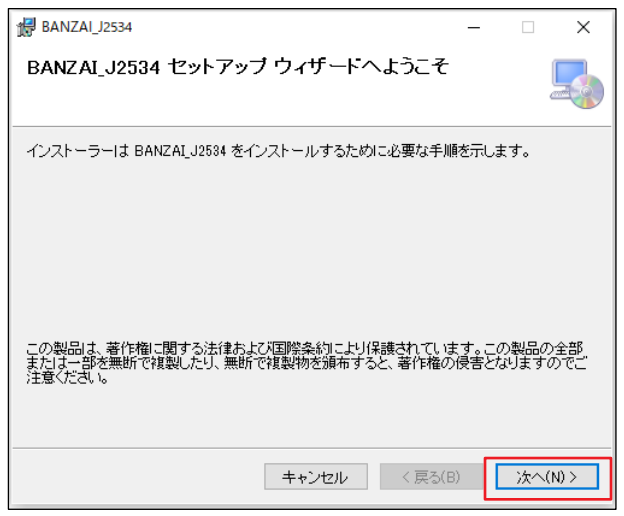


2. フォルダ内の「setup.exe」をダブルクリックして実行します。

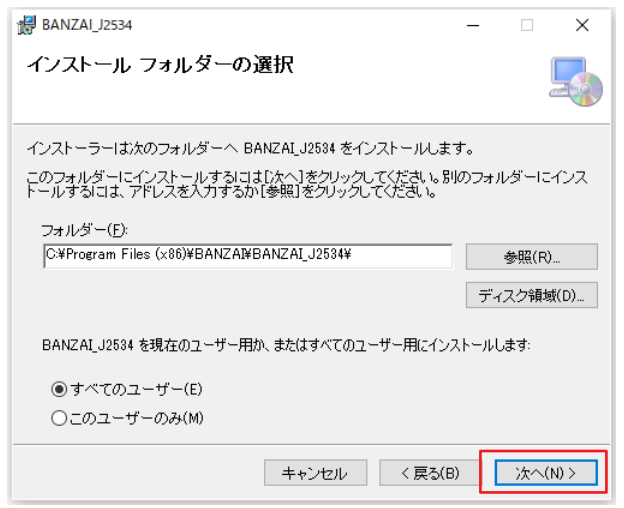


⚠ ・ファイルを実行する操作については、ご使用のパソコンの設定に従ってください。

3. インストーラーが起動します。[次へ]をクリックします。

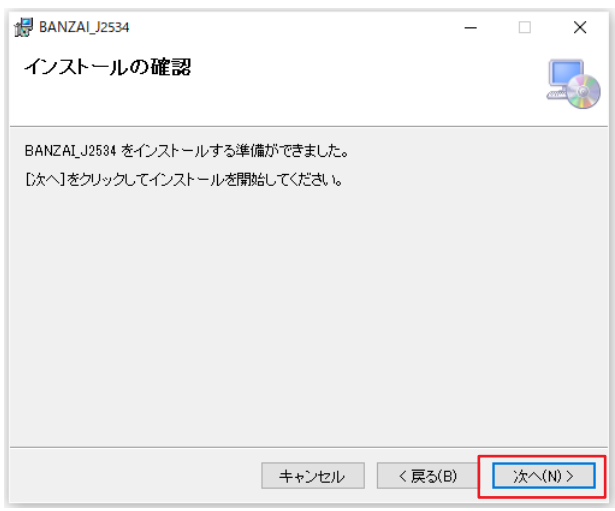


4. インストール先を確認するダイアログが表示されます。[次へ]をクリックします。

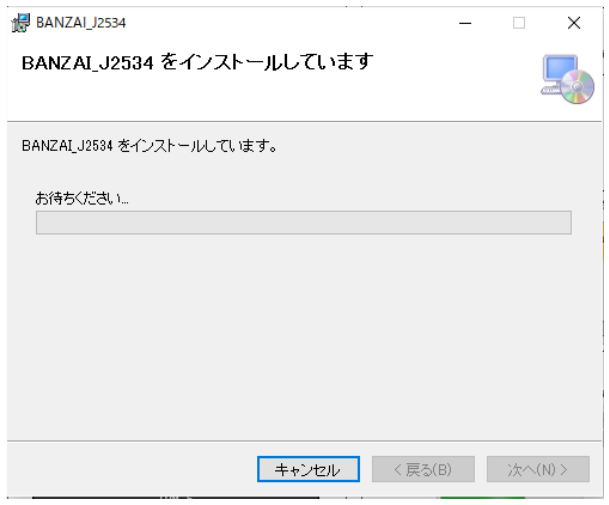


⚠ ・インストール先を変更する場合は [参照] をクリックして保存先を指定してください。

5. [次へ]をクリックしてインストールを開始します。

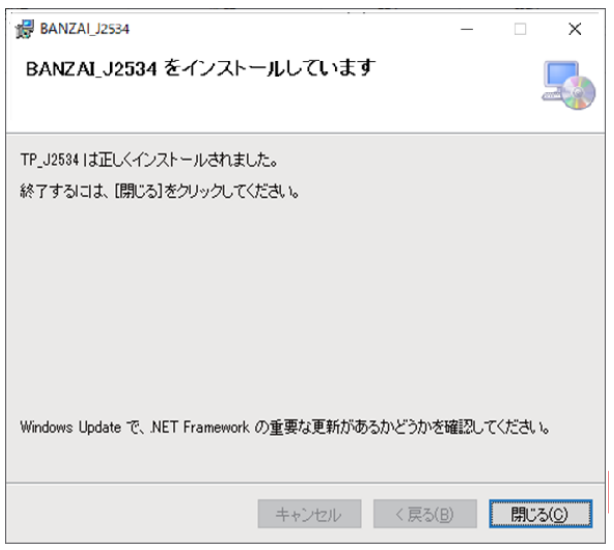


6. インストールが始まります。



・下記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は [はい] をクリックして許可してください。

7. インストールが完了しました。 [閉じる] をクリックして終了します。



8. インストールが完了するとデスクトップに 「J2534 Utility All-Dev VCI設定」 のショートカットが 生成されます。

・インストール完了後は「ハードウェアの安全な取り外し」を実行して 一旦本体を取り外してください。

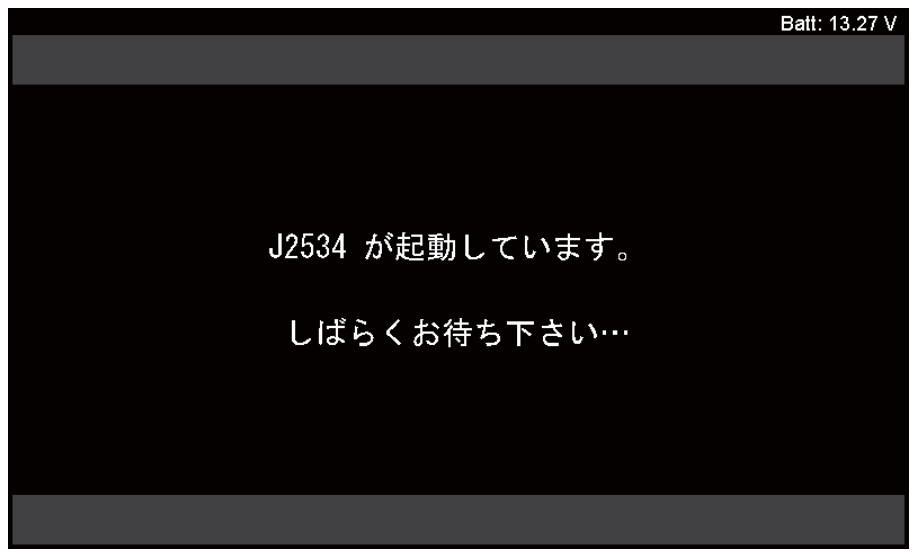
③ コミュニケーションテストの実施

1. 車両がイグニッション “OFF” であることを確認します。
本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション “ON” または必要に応じてエンジンを始動してください。

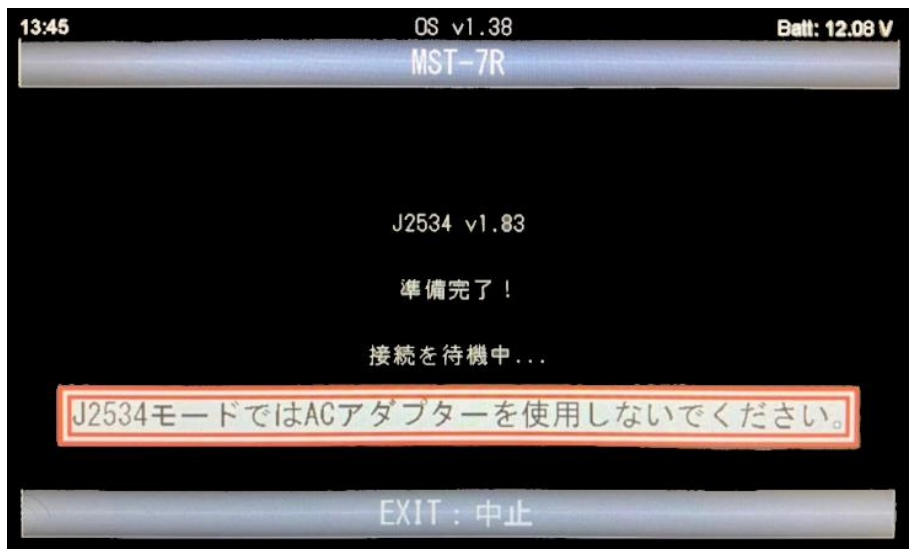
2. MST-7Rが起動してメインメニューが表示されます。
メインメニューから「特殊機能」 を選択します。

3. 続いて「J2534」 を選択します。

4. 「J2534」ソフトが起動します。

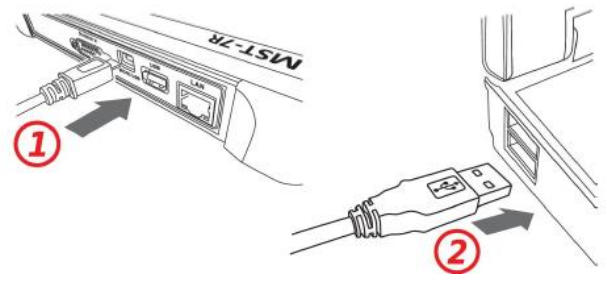


5. しばらくすると「準備完了」画面が表示されます。 MST-7Rはこの状態で待機します。



・J2534モードで（検査用スキャンツールとして）使用する場合は、ACアダプターを使用しないでください。
正しく検査ができない可能性があります。

6. 付属の micro USBケーブルを使用して本体のmicro USBポートとOBD検査で使用されるパソコン（タブレット）のUSBポートを接続します。

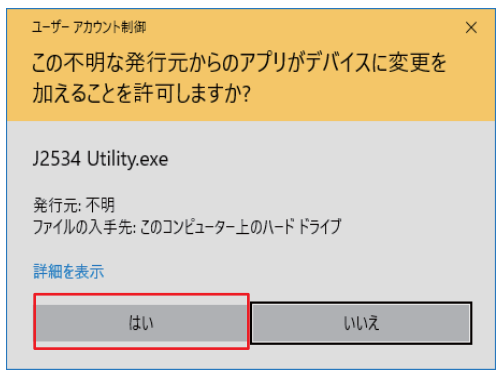


・micro USB ケーブルは必ず先に本体に接続した後、パソコンに接続してください。順番を間違えると認識しない場合があります。

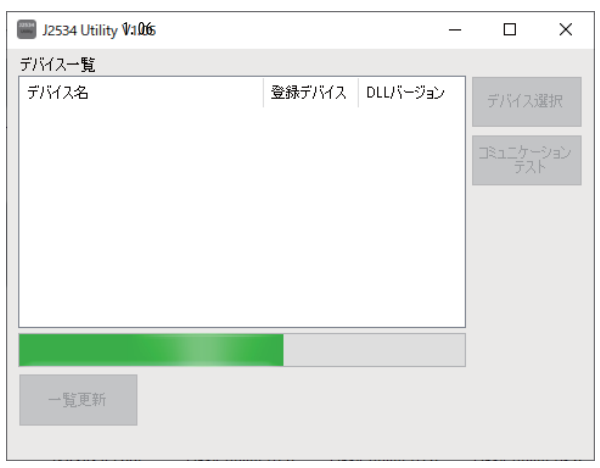
・パソコン（タブレット）との接続は、必ず付属のmicro USB ケーブルをご使用ください。
・初回接続時は「デバイスのセットアップ」ダイアログが表示され、セットアップが自動で始まります。
・「デバイスの準備ができました」ダイアログが表示されてセットアップが終了するまでお待ちください。

7. デスクトップの「J2534 Utility　All-Dev VCI設定」を起動します。

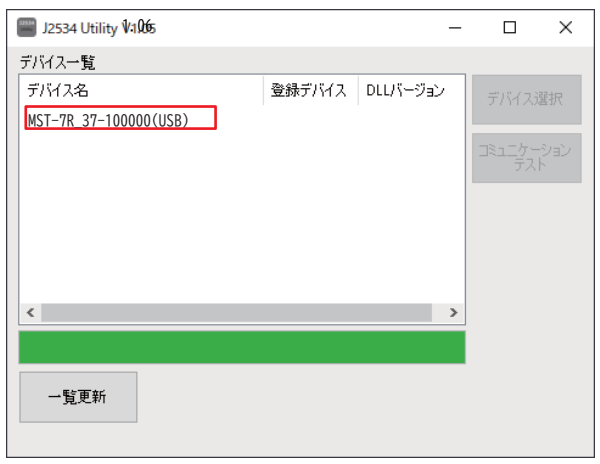
・下記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は [はい]をクリックして許可してください。



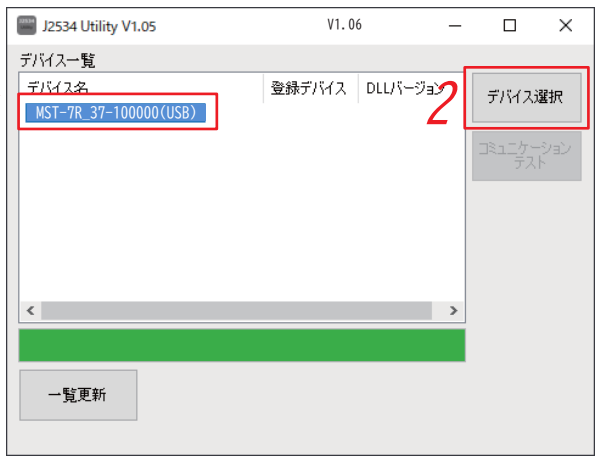
8. 起動すると、接続されている本体（デバイス）の検索が開始されます。



9. 接続した本体がデバイス一覧に表示されます。



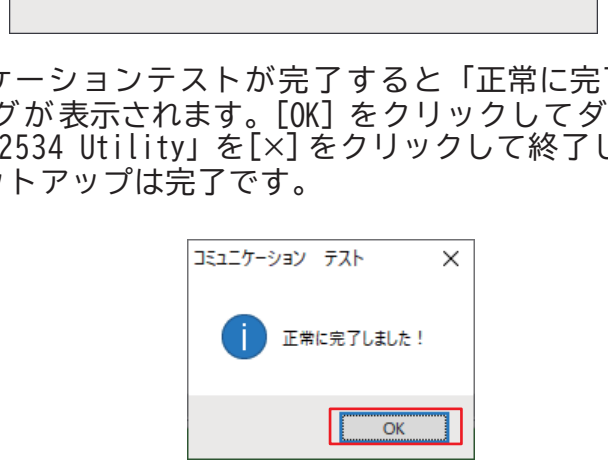
10. 接続した本体のシリアル番号とデバイス一覧に表示されたシリアル番号が一致していることを確認して、デバイス名をクリックして選択し [デバイス選択] をクリックします。



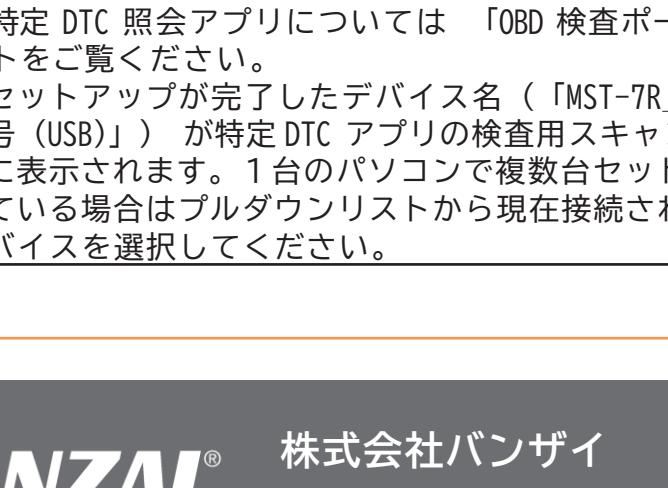
【MST-7R 37-OOO(USB)】を選択してください。

・本体のシリアル番号は本体裏面のシールに記載されています。 例） S/N ： 37-100000

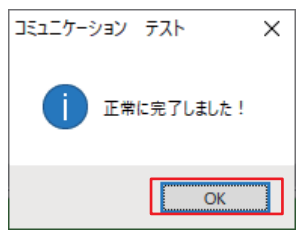
11. 「登録デバイス」 「DLL バージョン」 欄にバージョンが表示され、接続された本体がデバイスとして登録されました。



12. 続いてコミュニケーションテストを実施します。
デバイス名をクリックして選択し [コミュニケーションテスト] をクリックします。



13. コミュニケーションテストが完了すると「正常に完了しました」ダイアログが表示されます。[OK] をクリックしてダイアログを閉じ、「J2534 Utility」を[×] をクリックして終了します。
以上でセットアップは完了です。



14. 特定 DTC 照会アプリを起動して OBD 検査を行ってください。

・特定 DTC 照会アプリについては 「OBD 検査ポータル」サイトをご覧ください。
・セットアップが完了したデバイス名（「MST-7R_ シリアル番号（USB)」） が特定 DTC アプリの検査用スキャンツール欄に表示されます。１台のパソコンで複数台セットアップされている場合はプルダウンリストから現在接続されているデバイスを選択してください。

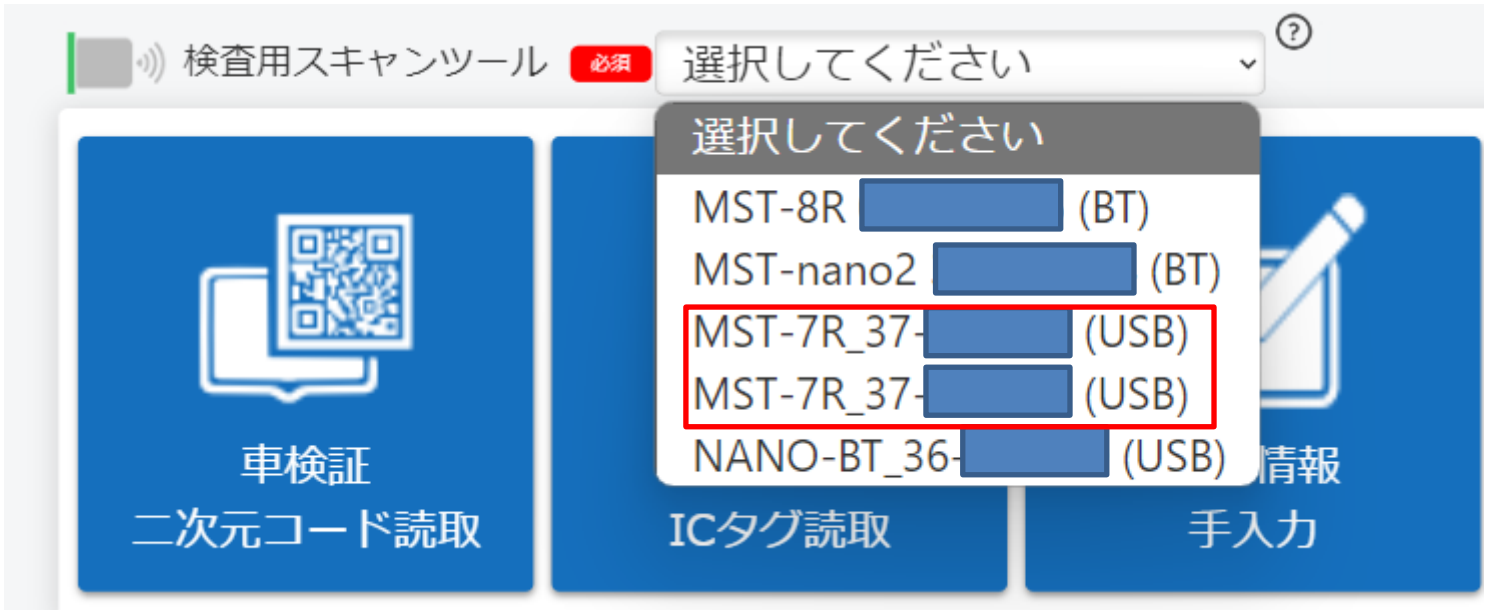
BANZAI®
株式会社バンザイ
〒105-8580 東京都港区芝2-31-19

こんな時は

前ページまでの作業を全て完了後、
特定DTC照会アプリにてOBD検査「実行」を押下した際に
「　【エラー：0002 0005】
検査用スキャンツールのセットアップが正しく行われていません。 」と
表示される場合は、

➡特定DTC照会アプリ　「確認モード」または「検査モード」画面内の
左上「検査用スキャンツール」を選択し、MST-7Rを選択してください。

※MST-7Rが２つ表示されている場合があります。
エラーメッセージが表示されている場合、もう一方の
MST-7Rを選択後、再度「実行」を押下ください。



MEMO